

取扱説明書

エア・インパクト・レンチ 品番：#36503400 型式：278VSR

1, 使用方法

- ①使用前には必ず、4 1, エアインレットからタービン(スピンドル)油を給油して、低速で始動させて下さい。給油を怠ると、内部に錆が発生し、故障の原因になります。
- ②本機は乾いた空気を使用する為、コンプレッサーに溜まっている水を、ドレインバルブより抜いて下さい。
- ③本機とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレーター・エアブリケーターを取り付けて下さい。
- ④3 0, 始動レバーを押すと、8, アンビルが回転し、離すと止まります。回転数、及び回転方向の切り換えは、2 7, レギュレーターノブの“●”をノブ上部の2 6, モーターハウジングに印字されている“●”に合わせて下さい。“●”の大きさが大きくなるほど、8, アンビルが速く回転します。時計回転方向に3段階、反時計回転方向に1段階の切り換えが可能です。
- ⑤ボルト、ナットを手で2山程度ねじ込み、その後、本機で締め付けて下さい。締め付け終了後、直ぐに3 0, 始動レバーを離して下さい。3 0, 始動レバーを押し続けても、ボルト、ナットはそれ以上強く締められません。又、本機の寿命が短くなります。本機で締め付け後は、必ず増し締めを行って下さい。
- ⑥ボルト、ナットが完全に緩む前に、3 0, 始動レバーを離して下さい。最後まで緩めると、ボルト、ナットが飛ぶ恐れがあります。

2, 注意事項

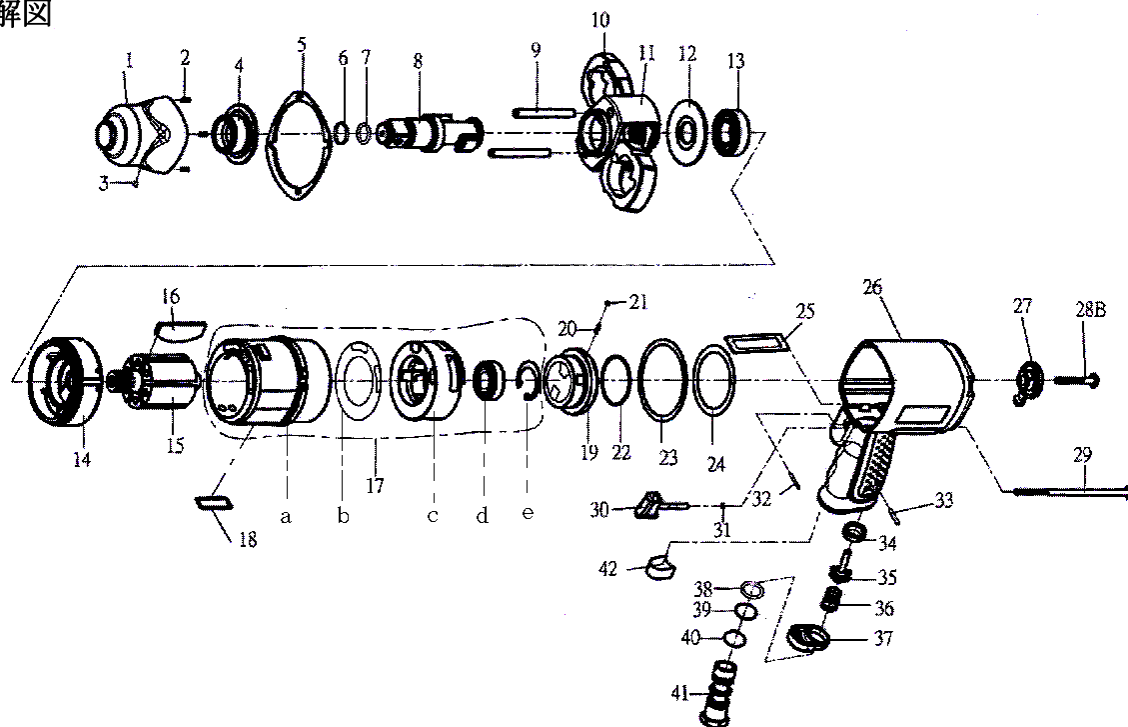
△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①本機の最大使用空気圧は**588kPa (6kg/cm²)**です。それ以上の空気圧、及び能力以上のボルト、ナットに対して本機を使用しないで下さい。
- ②4 1, エアインレットにゴムホース(約30cm)を付けてから、クイックカプラを取り付けて下さい。直接カプラを取り付けると、振動によりカプラが外れて、ケガをする恐れがあります。
- ③本機への給油に、ガソリン、灯油等の可燃性オイルを絶対に使用しないで下さい。
- ④未使用時や、ソケット交換時等は、必ず本機への空気の供給を止めて、本機をコンプレッサーより外して下さい。
- ⑤本機にソケットを付けた状態で、無負荷での空運転をしないで下さい。ソケットが外れて、ケガをする恐れがあります。
- ⑥可燃性物質のある場所では、使用しないで下さい。発火して、火事になる恐れがあります。
- ⑦回転中、使用後直ぐに、差込角、ソケット、回転部には決して触れないで下さい。ケガ、火傷をする恐れがあります。
- ⑧3 0, 始動レバーを故意にロックさせて、回転させたまま放置しないで下さい。
- ⑨本機を人に向けて使用しないで下さい。
- ⑩改造は絶対にしないで下さい。改造を行っての作業は、事故の原因になります。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①本機に破損箇所がある場合、ソケット、ゴムホースの破損、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ②作業に適した服装、安全眼鏡、マスク、耳栓等を着用して下さい。
- ③作業関係者以外は、作業する場所に近づけないで下さい。
- ④本機はボルト、ナットの締め付け、緩めるのに使用する工具です。その他の用途には使用しないで下さい。

3, 部品分解図



品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	ハンマーケース	1 3	ベアリング	2 1	スチールボール	3 3	スプリングピン
2	インサートリコイル	1 4	フロントエンドプレート	2 2	Oリング	3 4	ブッシュ
3	グリースフィッティング	1 5	ローター	2 3	リアガスケット	3 5	バルブシステム
4	アンビルプッシング	1 6	ローターブレード	2 4	ワッシャ	3 6	スプリング
5	フロントガスケット	1 7 a	シリンダー	2 5	チャンネルガスケット	3 7	デフレクター
6	アンビルカラー	1 7 b	ガスケット	2 6	モーターハウジング	3 8	Oリング
7	Oリング	1 7 c	バルブスリーブ	2 7	レギュレーターノブ	3 9	Oリング
8	アンビル	1 7 d	ベアリング	2 8 B	ネジ	4 0	Oリング
9	ハンマーピン	1 7 e	スナップリング	2 9	ネジ	4 1	エアインレット
1 0	ハンマー	1 8	スクエアリング	3 0	始動レバー	4 2	フィルター
1 1	ハンマーケース	1 9	リバースバルブ	3 1	Oリング		
1 2	リアワッシャ	2 0	スプリング	3 2	スプリングピン		